

2026年度 大阪公立大学

小論文問題

(工学部 都市学科)

解答時間 120分

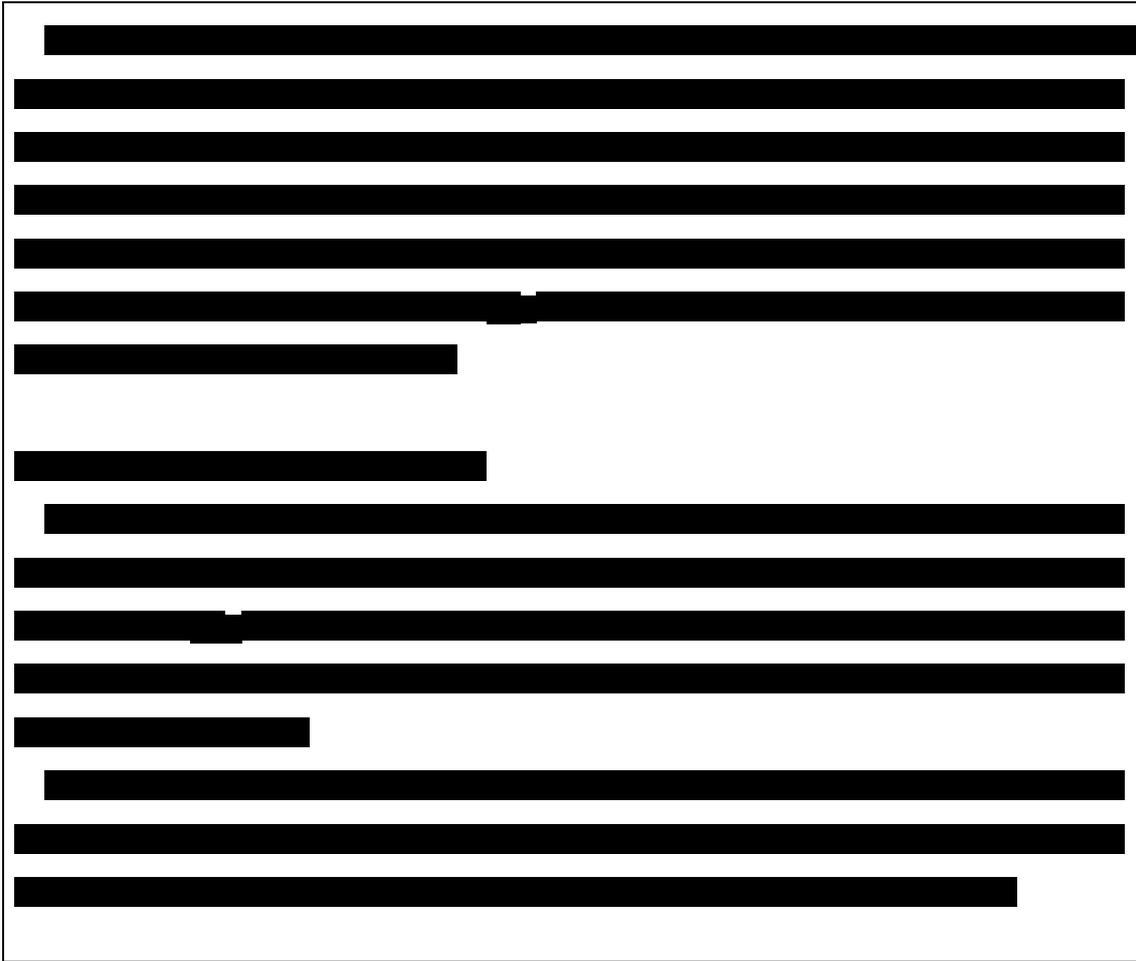
注意事項

1. 問題冊子は、監督者が「解答始め」の指示をするまで開かないこと。
2. 問題冊子は、表紙を含めて全部で6ページである。脱落のあった場合には申し出ること。
3. 解答用紙(4枚)及び下書き用紙(2枚)は別に配付する。脱落のある場合には申し出ること。
4. 解答開始後ただちに、すべての解答用紙の所定欄に、受験番号を丁寧に記入すること。
5. 解答は、すべて解答用紙の所定欄に記入すること。
6. 解答に字数の制限があるときは、句読点や記号も含めて数えること。
7. 解答以外のことを書いたときは、該当箇所の解答を無効とするときがある。
8. 問題冊子の余白は下書きに使用してもよい。
9. 解答終了後、配付された解答用紙はすべて提出すること。問題冊子及び下書き用紙は持ち帰ること。
10. 本試験問題の一部あるいは全部について、いかなる方法においても複写・複製など、著作権法上で規定された権利を侵害する行為を行うことは禁じられています。

第1問

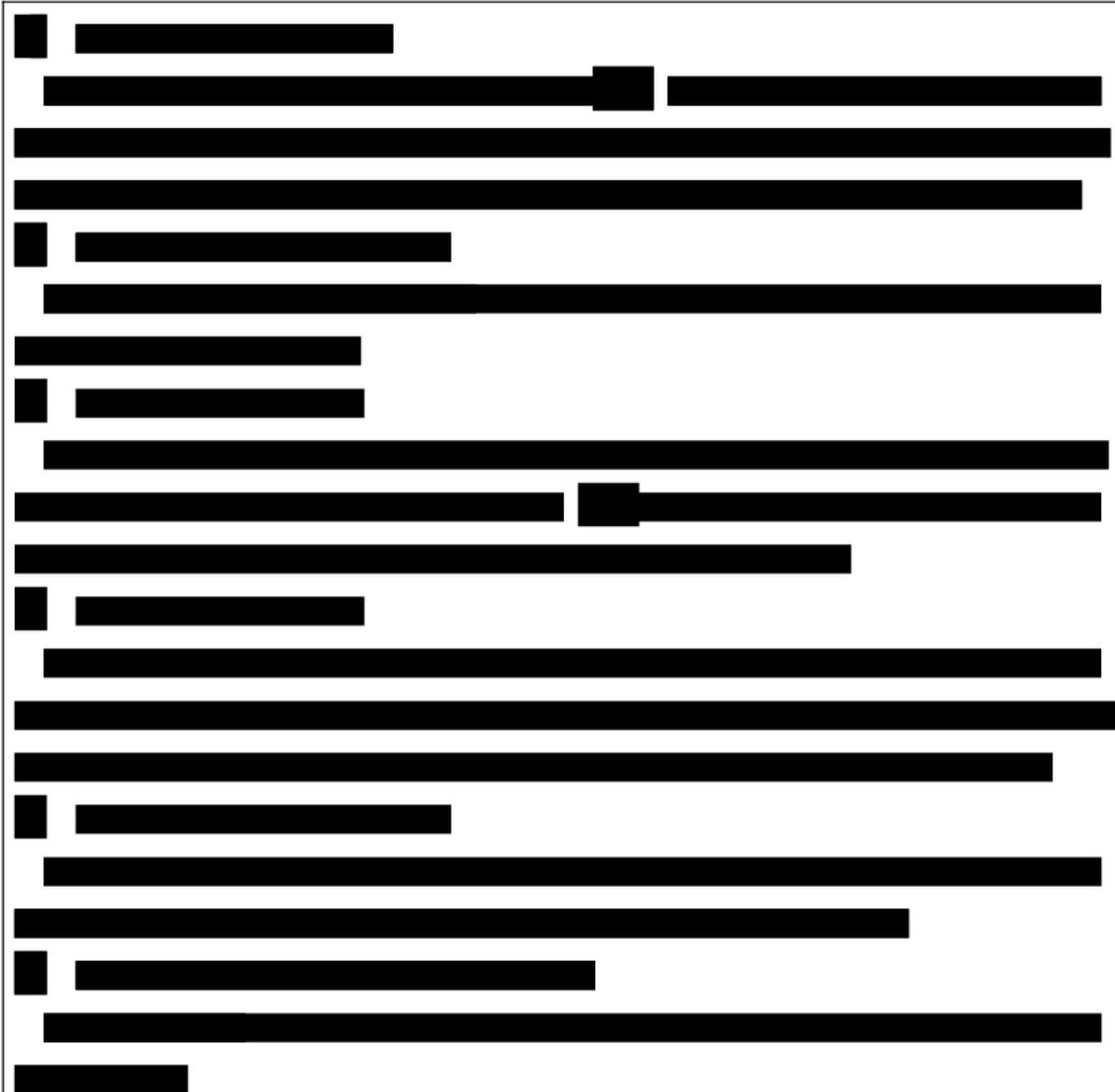
次の文章を読み、以下の設問に答えなさい。

[Redacted text block containing multiple lines of blacked-out text]



令和5年版 防災白書 特集1 第1章 第5節 5-3 より抜粋・一部改変

- 問1 文中の (ア) ～ (ウ) に入る用語や数字を書きなさい。
- 問2 災害時に行政機関や消防・警察などが行う救助・援助活動を「公助」と呼ぶ。文中の下線部(1)にあるように、大規模災害が起きた際に「公助」のみならず「自助・共助」が重要である理由を200字程度で述べなさい。
- 問3 文中の下線部(2)に関連して、近年では「減災」のためにソフト的な対策も求められるようになってきている。自然災害を1つ選んだ上で、減災のために、あなたが日頃から取り組めるソフト的な対策について、300字程度で述べなさい。



3R・気候変動検定公式テキスト，pp.10-11，ミネルヴァ書房 より抜粋・一部改変

問1 あなたは都市学科でどのようなことを学び、SDGsの達成にどのように貢献したいと考えますか。SDGsの17の目標（ゴール）から2つ選び、それぞれに対して現状の課題を示すとともに、貢献したい内容について、200～250字で述べなさい。なお解答用紙の所定欄に選んだ目標（ゴール）の番号も書くこと。